



山内 陽子 議員

高島市民病院
病児保育

病児保育利用者ニーズをつかめ

答
今後、協議します。

現在、市は高島市民病院

に「病児保育」を委託し、市の仕様書で事業が行われている。市民アンケートの中で仕事と子育ての両立では「子どもの急病時の対応が不安」と80%の方が回答している。

問 利用者のニーズと利用延べ人数が半減している理由はなにか。

答 健康福祉部長

手続きが煩雑なことや、高島市民病院が市の端にあり、利用しづらい。途中で子どもの状態が悪化したら、迎えに行き、結局仕事を休む事になるなど意見があります。

問

県内十自治体の病児保育で、利用者が多いのは、子どもの病状が悪化した場合そこで治療をしてくれる施設だ。途中で返すようなことはしていない。なぜ、高島市民病院内に病児保育があるのか、子どもの体調が悪化したら治療できないのか。

答 健康福祉部長

保護者のニーズからすると、最後までお預かりできるのが良いと思いますが、しかし、高島市民病院の事情もあり、保護者に迎えてもらいたい、かかりつけ医で受診いただいています。

問

仕事が休めないから、迎えに行っても結局、車の中で休ませているケースを聞いたが、改善策はないのか。

答 市民病院事務部長

熱が39度を超えたら保護者に連絡して保護者の判断と責任でかかりつけ医の診察を受けて頂くように伝えています。緊急の場合は市民病院の救急でも対応することとしています。病児保育は地域の医療機関との連携や協力体制により成り立っていますのでご理解ください。

問

利用しない人、利用できない人のニーズを掘り起こす必要がある。病児保育の現場の担当者による巡回支援ができないか。

答 健康福祉部長

今後、高島市民病院と協議します。



高島市民病院 病院ボランティアさんの作品

その他の質問

●琵琶湖周航の歌誕生
100周年にむけて